



20170330 セミナー「地域包括ケアシステムにおけるこれからの保険外サービス」

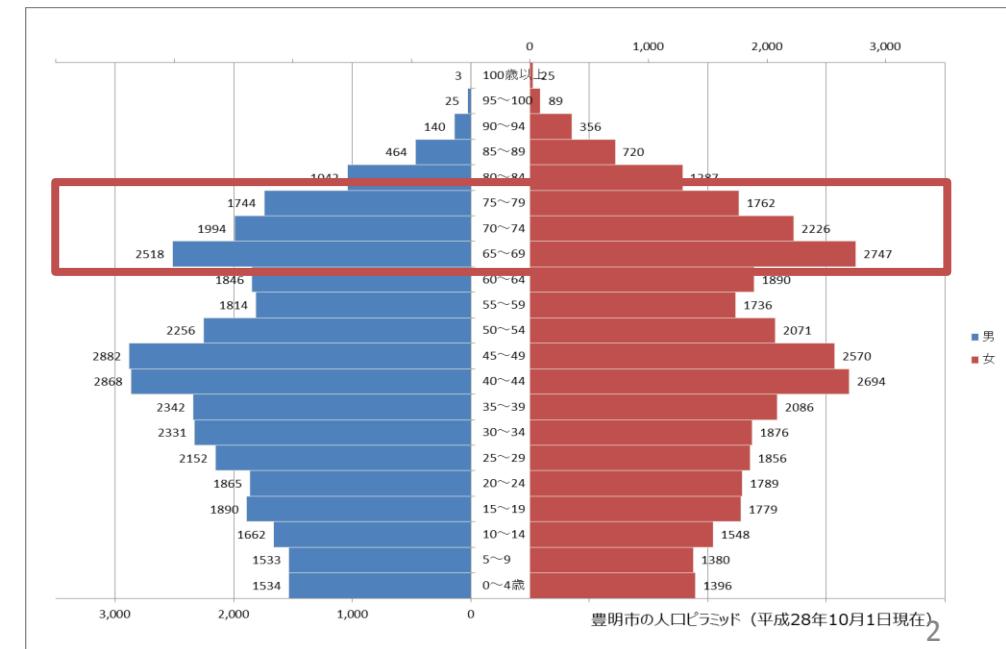
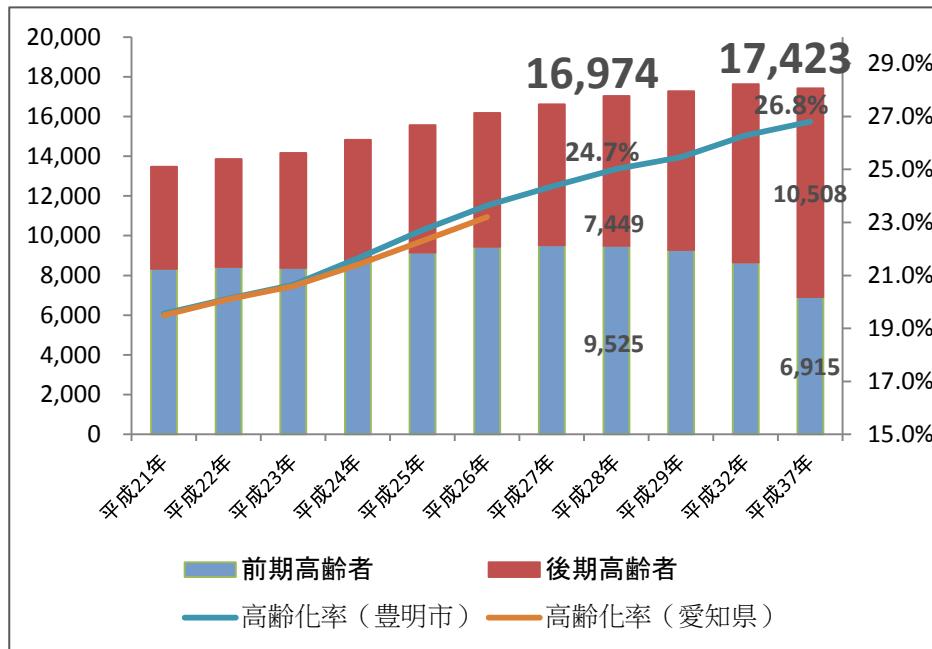
地域ケア会議から生まれた 公的保険外サービスの創出・活用促進

豊明市 健康福祉部 高齢者福祉課

豊明市の概況

- ・愛知県のほぼ中央に位置する名古屋市のベッドタウン
- ・人口 68,674人 (28,947世帯)
- 高齢者人口 16,974人 (平成28年4月1日現在)
- ・高齢化率 **24.7%** (県高齢化率より高い)
- ・人口構成は、前期高齢者に人口に山があり、

今後10年の後期高齢者の伸びが著しい地域特性



豊明市を取り巻く社会変化

◇背景

- ・大都市近郊の高齢化の典型、**後期高齢者人口の著しい増加**
- ・**豊明団地**を中心に**独居高齢者・高齢者のみ世帯**の増加
- ・急激に増え続ける**医療・介護ニーズ**と深刻な**担い手不足**

◇課題

- ・**在院日数の短縮**、繰り返す入退院
- ・全国平均、県平均を上回る一人あたりの**医療費**
- ・**在宅を支えるサービスの不足**、施設サービス利用率の高さ
- ・**急性期医療、地域医療、介護**の連携・統合
- ・軽度者を**要介護状態にさせない**、**重度化させない**仕組み
- ・この10年間に後期高齢期を迎える世代の健康づくり

地域包括ケア「豊明モデル」のあゆみ

愛知県地域包括ケアモデル事業

- ・平成26年度～平成28年度(3年間)
- ・豊明市北部地域「豊明団地」をモデル地区とし
藤田保健衛生大学・UR都市機構とともに事業展開
- ・豊明団地から広がる地域包括ケア「豊明モデル」づくり
「けやきいきいきプロジェクト」

UR豊明団地

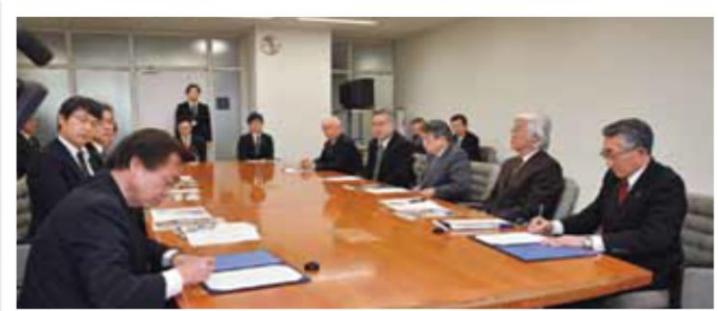
55棟2000戸

UR都市機構がすすめる医療福祉拠点化のひとつ



学校法人藤田学園との包括協定

- ・藤田保健衛生大学・藤田保健衛生大学病院との多分野での連携協力に関する包括協定締結



UR都市機構との包括協定

- ・超高齢社会に向けた団地の地域の医療福祉拠点化に向けて包括協定締結
- ・全国100団地拠点に選定



けやきいきプロジェクト-地域医療福祉の総合拠点へ

豊明団地ケアネットワークの協力体制

UR都市機構

- 施設賃貸の受入れ(集合用棟、店舗の活用)
- 医療・福祉・団地コミュニティ活性化講座の開催支援(集合所の無償化等)
- 学生及び教職員用住宅の提供
- 訪問系サービス事業者のための駐車スペースの提供



たすけあい・協力の相互関係

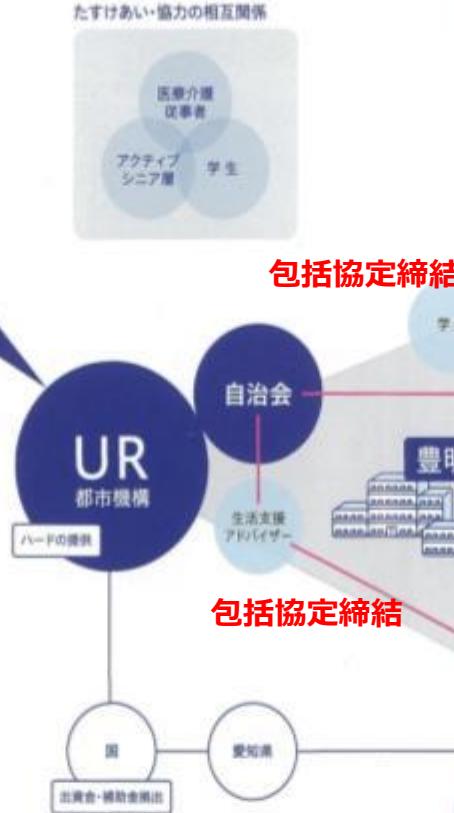


- けやき会館等での運営
UR・市・大学の連携企画
いきいき健康ネットワーク(在宅医療等)

学生・教員の団地内居住と コミュニティ参加



自治会住民との プロジェクト会議



藤田保健衛生大学

- 団地内で地域医療福祉拠点「ふじたまちかど保健室」を運営
- 学生・教職員の団地内居住推進および団地内での自治会等コミュニティ活動への参加
- 団地をフィールドとした地域医療介護入材の育成

まちかど保健室



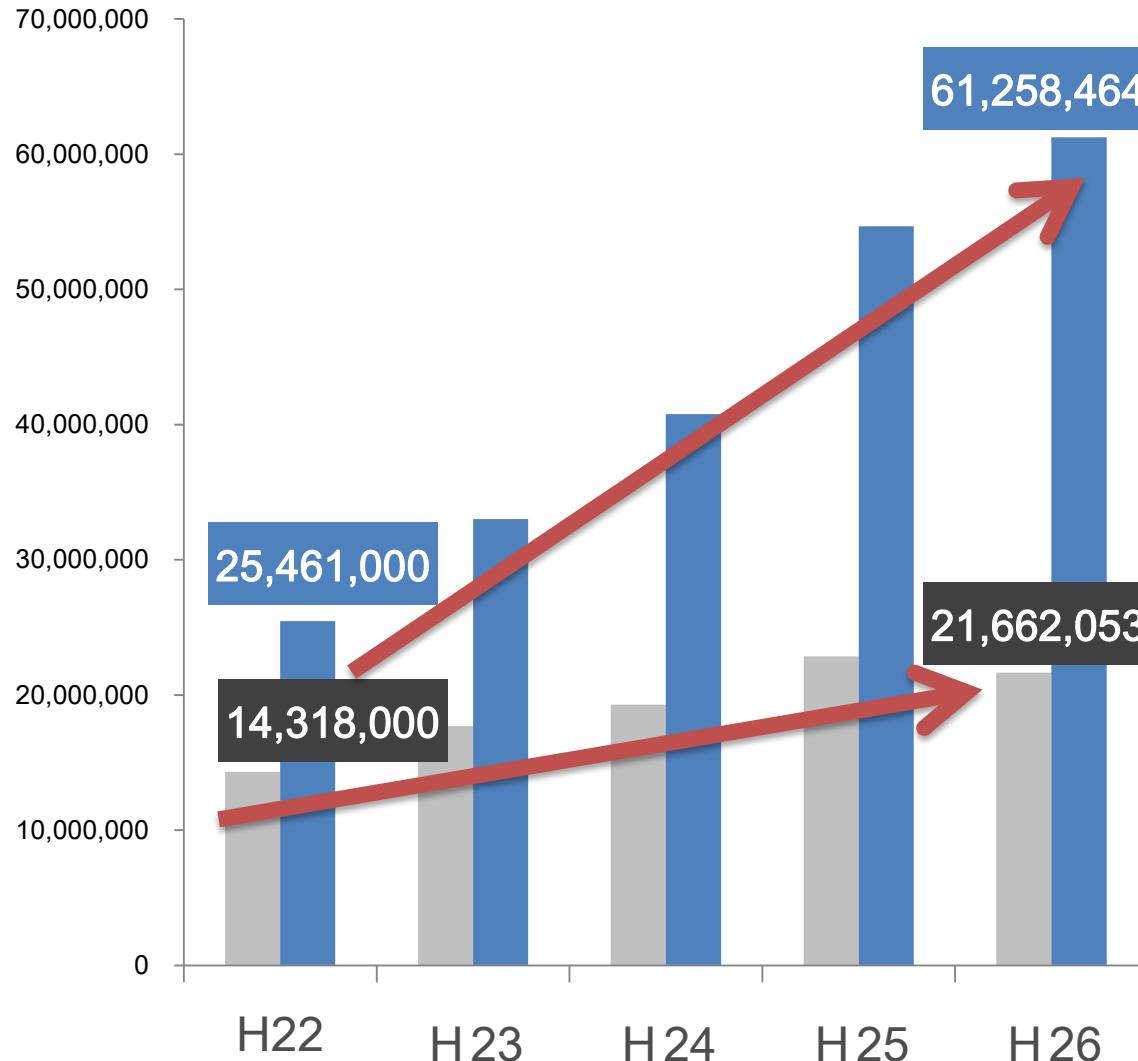
豊明市

- 地域医療介護ネットワークの構築
- 地域ケア推進会議等の実施
- 地域包括支援センター機能の導入
- 在宅医療サポートセンターの導入
- 育後児保育機能の導入

豊明市の近年の取り組み

	医療介護連携	地域包括ケア全般	新総合事業	認知症総合支援事業	生活支援体制整備	地域リハビリテーション	地域ケア会議
H23	いきいき笑顔ネットワーク ICTによる情報共有基盤整備						
H24							
H25							
H26	人材育成研修モデル事業 人材育成事業継続 地域の職能団体組織化支援	在宅医療連携拠点推進事業	愛知県地域包括ケアモデル事業 けやきいきいきプロジェクト開始				
H27				■ 地域支援 ■ 推進員配置 ■ 認知症初期集中支援チーム ■ 試行実施 ■ 本稼働	■ 第1層 ■ 生活支援コーディネータ配置 ■ 協議体準備 ■ 本稼働	事業開始	
H28	リハビリ・看護師・ 介護支援専門員の連絡協議会設立		前倒し移行				定例実施

要支援者の通所・訪問サービス給付費の推移

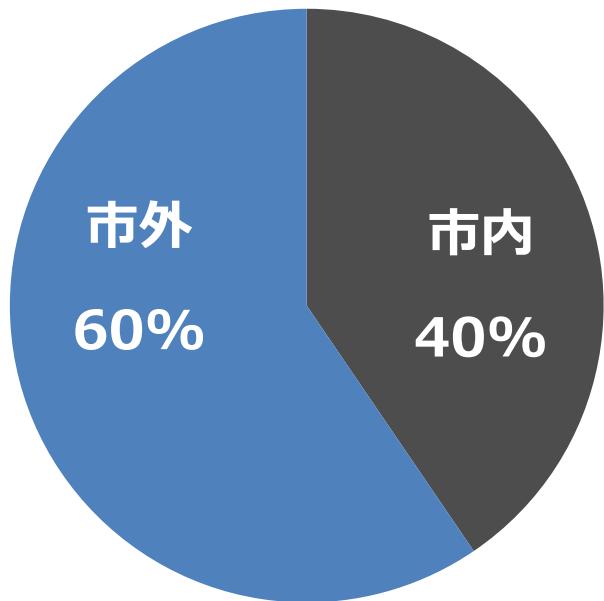
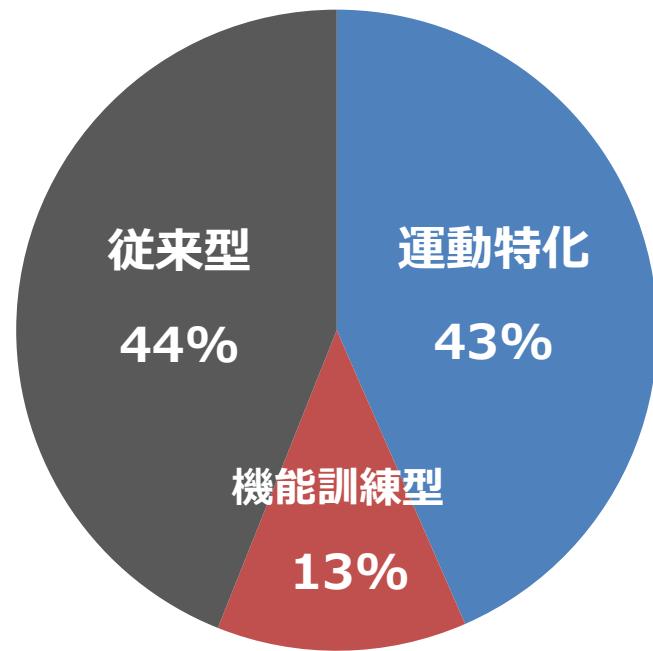


5年間で
介護予防通所介護
2.5倍
(年平均伸び率28.5%)

介護予防訪問介護
1.5倍
(年平均伸び率12.8%)

要支援者の通所サービス利用状況

サービス事業所

サービスのタイプ[°]

分析

- ①利用者の大幅な伸びは、市外（近隣市）に、運動特化デイサービス（半日型）の事業所が多くできたことによるところが大きいのではないか
- ②大幅な報酬減の影響をどう考えるか？市外事業者頼みは限界がないか？

要支援者の1年後重度化率の比較

		平成28年3月				
		要支援1	要支援2	要介護1・2	要介護3～5	
豊明市	平成27年3月	要支援1	42.9%	29.7%	26.4%	1.1%
		要支援2	9.5%	62.5%	26.2%	1.8%
全国	平成27年3月	要支援1	67.9%	19.9%	11.2%	1.0%
		要支援2	11.3%	67.5%	19.2%	2.2%

要支援者は
1年後に

要支援1の
57%が重度化
27%は要介護

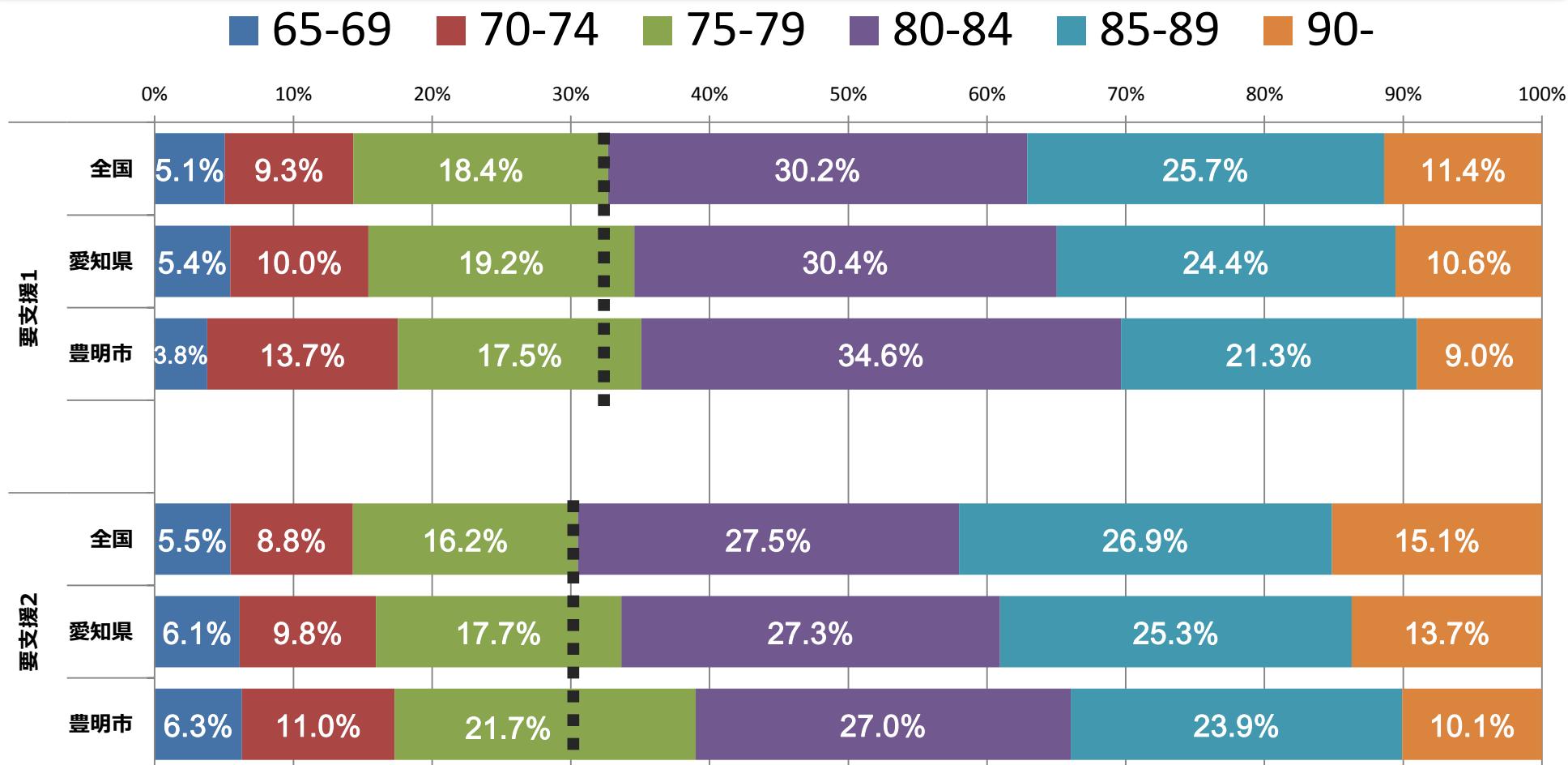
要支援2の
28%が要介護

全国値よりきわめて
高い重度化率

※平成27年度 介護給付費実態調査の概況

表4 要介護(要支援)状態区分別にみた年間継続受給者数の変化別割合

介護度別年齢構成割合 (平成28年4月月報)



全国値より要支援者の構成年齢が若いにもかかわらず、重症化率が高いということは、予防給付のアウトカムが出ていない

介護予防・日常生活支援総合事業

平成28年3月総合事業移行。

通所事業は、まちかど運動教室（一般介護予防）を中心に据え、短期集中的に高い専門性を持つ理学療法士等によるリハビリを行い、廃用症候群からの早期脱却を目指すプログラムとした



市内デイケア事業所による質の高いリハビリ提供

豊明市リハビリ連絡協議会によるプログラム検討



市内20会場で地域運営のまちかど運動教室





まちかど
運動教室

お近くでみなさんと一緒に運動習慣と筋力を作りましょう!

「老化は仕方ないこと」と考えていませんか?

心身機能を低下させてしまう最大の原因是、「もう年だから」「あくつだから」と身の回りのことや外出をしなくなることがあります。

まちかど運動教室をきっかけに、老化を防ぎ、健康で長生きできる心身をつくりましょう!

こんな方にオススメです!

- ▶ 運動習慣のない方
- ▶ ちょっとした動作で息切れする方
- ▶ 腰痛や膝痛など慢性的な痛みを予防改善したい方
- ▶ 認知症を予防したい方

初めての方でも大丈夫!

対象 おおむね65歳以上の方
男女問いません

場所 市内の地域の集会所・公民館等 (詳細は裏面)

内容 1時間程度のストレッチ、筋力アップ体操
椅子に座ったままでも、立った姿勢でも可能です

講師 スポーツインストラクター等
(介護予防運動指導員)

各地区情報:裏面参照

みんなのお近くの「まちかど運動教室」に関するお問い合わせは
豊明市高齢者福祉課地域ケア推進係 ☎92-1261



多職種合同ケアカンファレンス (保険者主催の地域ケア会議)

豊明版中央地域ケア会議。

【目的】

自立型ケアマネジメントの強化

多職種の視点によるケアの質の向上

在宅療養生活における地域課題の把握

【頻度】

要支援・事業対象者 月1回

要介護 月1回



多職種合同ケアカンファレンスの進め方

項目	所要時間	ポイント
プラン説明	5分	○現在の状況に至った要因（個人因子・環境因子）を簡潔に説明 ○生活機能評価の説明→改善可能なポイントはどこか? ○上記を踏まえたプランと3ヶ月（6ヶ月）の到達地点を説明
事業者からの支援方針説明	3分	○サービス事業者から改善可能なポイントを補足
質疑・意見交換	10分	○参加者は、自らの専門分野を中心に内容をチェックする 保健師・看護師－想定される医療上のリスク、注意点、服薬内容 社会福祉士－独居、認知症等に対する権利擁護的な視点 理学療法士－疾病特有の予後、機能改善のポイント、生活上の注意点 主任ケアマネ－自立支援に資するプランか、サービス量は適当か
まとめ	2分	28年度後半から

参加者

【司会】高齢者福祉課

【参加者】

- ・地域包括支援センター
- ・集中リハ事業所
- ・参加者（アドバイザー）
医師、薬剤師、PT、OT、ST、
保健師、看護師、歯科医、歯科衛生士、
生活支援コーディネーター ほか多数

自立支援型ケアマネジメントの徹底

現状を手当するだけのプランやサービス提供になっていないか、多職種の視点で指摘しあい思考パターンを変えていく

安定歩行

家事・役割

意欲

コミュニケーション

認知症

交流・参加

食欲

しなくなった活動

どの要素が課題となって今があるのか
この人にとっての「自立支援とは何か」を常に問う

総合事業移行直後の関係者の本音や戸惑い

デイサービスに通い続けることで維持している。終了があるなんて考えられない

移動の足がないので、デイサービスをやめたら行く場所がない

友達が通っているからと、
●●デイサービス（機能訓練ディ）に行きたいと希望される

本人はまだデイサービスほどではないと行ったがらないが、家族は、本人に一日中どこかに通っていてほしいと希望される

ヘルパーの生活援助は、自宅での生活が続く限り最低限必要なサービスである



デイサービスしかない、ヘルパーは止められないは本当なのか？

本人にとって「何が課題」でサービスによって「何を目指す」のか？

要支援のケアマネジメントの特徴

ADL自立し、わずかに IADL の一部に援助を要する程度だから、日常生活の問題は少ない。ケアマネジメントも簡単である。



大きな間違い

要支援者のケアマネジメントこそとても難しい

- 廃用症候群からの脱却には、「活動的な生活」を送る必要があり、本人の「意欲」にかかることが大きい。
- 軽度者の自立支援型ケアマネジメントは、その人の生活スタイル、意欲にアプローチしなければいけない難しさがある。
- 本人の望む「家の外の生活」や「生活の手段」を提供ができなければ、エンドレスのデイサービスやヘルパー利用になる

公的保険外サービス発掘のきっかけ



市外温泉からの無料送迎バス

- 隣接市の複合温泉施設の送迎バスが豊明市を走っているのを職員が発見。乗車率が非常に悪かった。
- 送迎バスがある民間施設は、高齢者が通える居場所になり得るのではないかと考え、企業側に市からアプローチ。バスの乗車率向上の協力(住民への周知)を申し入れた。



無料配送するスーパー（コープ）

- 「けやきいきプロジェクト」で、買い物支援が問題になり、プロジェクトへの参加を要請。
- 平成28年4月から店舗の購入品を当日無料配送、10月から電話注文サービスを開始し、市が本サービスについて住民出前講座や医療介護関係者のネットワークを活用し周知協力

民間事業者との協議の場・サービス開発

民間企業との協議の場を設け、国の動向、市の高齢者の現状、高齢者のニーズ、現行の民間サービスの利用のしにくさなどを協議。

参加者

リサイクル業者、フィットネスクラブ、掃除サービス業者、食品メーカー、スーパー、天然温泉施設、カラオケ施設、学習塾、介護事業所、地域包括支援センター など

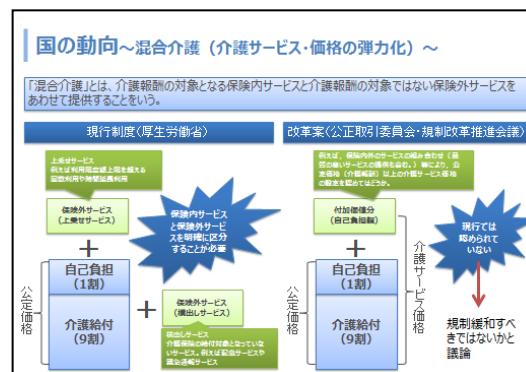


OUTLINE

目次

- 1 地域包括ケアをめぐる潮流
- 2 国の動向と豊明市の方向性
- 3 豊明市の地域包括ケア

豊明市



公的保険外サービス・健康寿命延伸事業展開促進

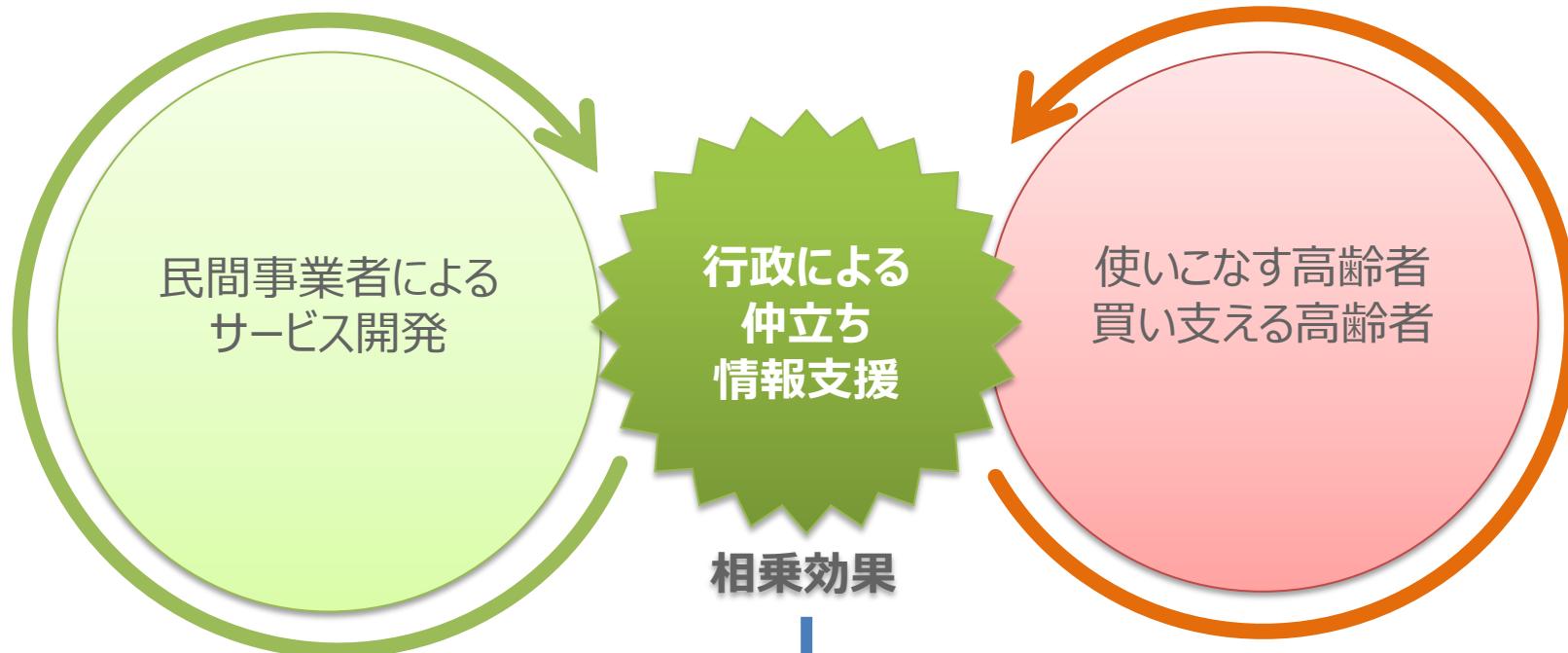
公的保険外サービス・高齢者健康寿命延伸事業
民間事業者連絡会議

豊明市健康福祉部高齢者福祉課

公的保険外サービス活用促進に向けた行政の役割

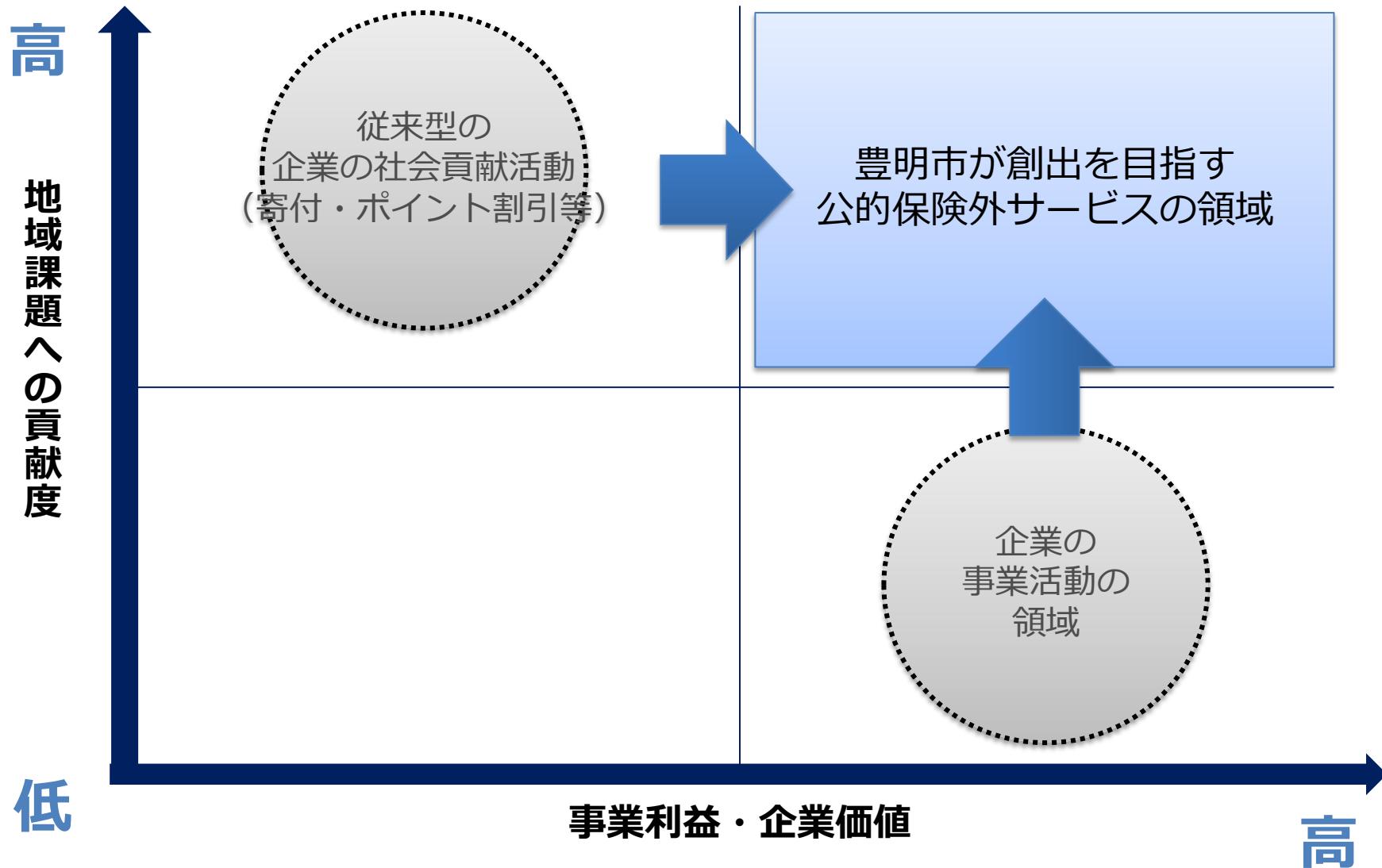
いかに高齢者にサービスを知ってもらえるのか
高齢者が何を望んでいるのかわからない

どんなサービスがあるのか知らない
利用するきっかけがない



消費者ニーズを反映したサービス創出
高品質で使いやすい価格帯のサービス

豊明市が目指す公的保険外サービスの領域



公的保険外サービス創出・促進に関する協定締結

健康寿命延伸生活支援に関する 公的保険外サービスの創出・促進に関する協定締結

平成29年2月15日民間企業9者と協定締結

行政の役割：連絡会議の開催、情報発信支援

事業者の役割：高齢者の健康寿命の延伸や生活支援に関するニーズ把握、サービスの創出及び提供

事業者名	店舗名	サービス
アイエムメディカル株式会社	FITNESS PARK5	フィットネス・健康講座
生活協同組合コープあいち	前後駅前よあけ店	購入品無料配送
株式会社コパン	コパンスマイルスクール豊明	介護予防教室
株式会社KOMOKA	ダスキンホームインステッド三河安城ステーション	生活支援・家事援助
株式会社だるま	Curves前後駅前店	フィットネス・健康講座
株式会社東海第一興商	カラオケクラブDAM	介護予防教室
株式会社ナカシロ	楽の湯みどり店	無料送迎バスによる外出支援・入浴・健康づくり
株式会社中西	-	お片づけ・生活支援
森永乳業株式会社	中部支社東海支店	健康教室

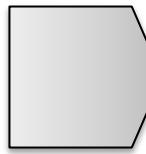


民間事業者と協議により実現したサービス例

○天然温泉施設

まちかど運動教室への協賛（入泉割引券提供）

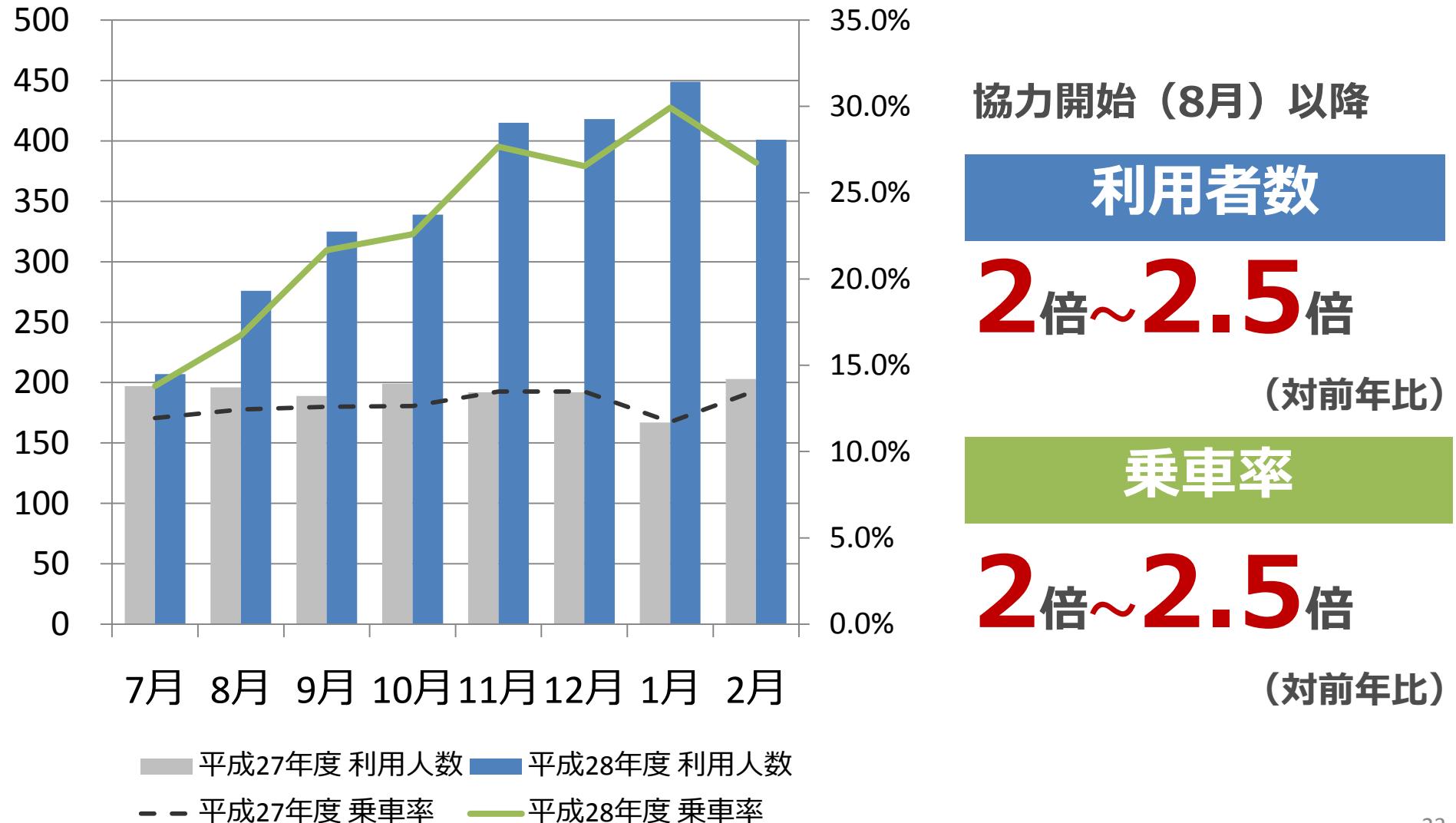
温泉施設で理学療法士による健康講座の共同企画



運動教室でのイベントチラシ配布
出前講座、ケアマネ等へ情報提供



協力後の温泉施設送迎バスの利用者数の推移

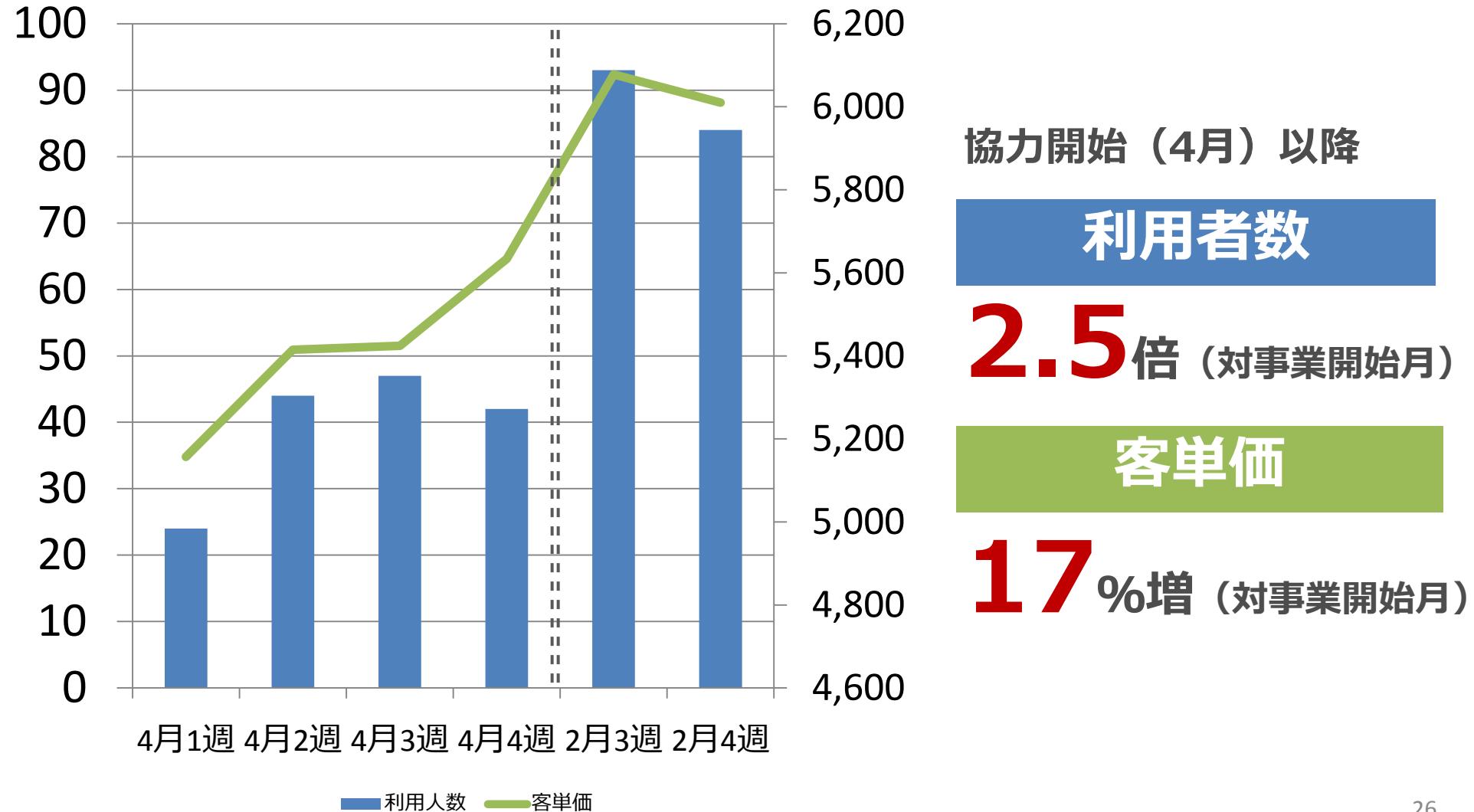


～利用者の声～

- 助かります。ありがとうございます。・・・・・この声が圧倒的に多いです。
- 足が悪いので、持って帰るのが大変。本当に助かります。
- 朝、開店と同時に来て買い物をし、商品を預けて病院へ行き、家に帰ってゆっくりし、商品が届くのを待つ、これが便利。
- 自分で持て帰れる量を考えながら買い物していたが、
気兼ねなく買い物できる。
- 配達してくれるおかげでタクシーをつかわなくてすむ。
助かります。
- 子供が寝てしまった時に商品を
預けられるので便利。
- こんな坂道のところに届けてくれて
ありがたい。



協力後の「ふれあい便」の利用者数の推移



自立支援型ケアマネジメントの徹底

単なる介護保険サービスだけを組み合わせたり、介護保険サービスに利用者を当てはめたりするケアマネジメントから脱却し、その人に本当に必要な場所や支援を
介護保険に限定せず、幅広く探し、無ければ創り出す発想が必要

これまで

訪問介護



ヘルパーによる買い物

通所介護



送迎してくれるデイサービスで機能訓練

これから

リハ職による支援



宅配サービス

駅前のスーパーまでの歩行・バスの乗車をリハ職による訓練

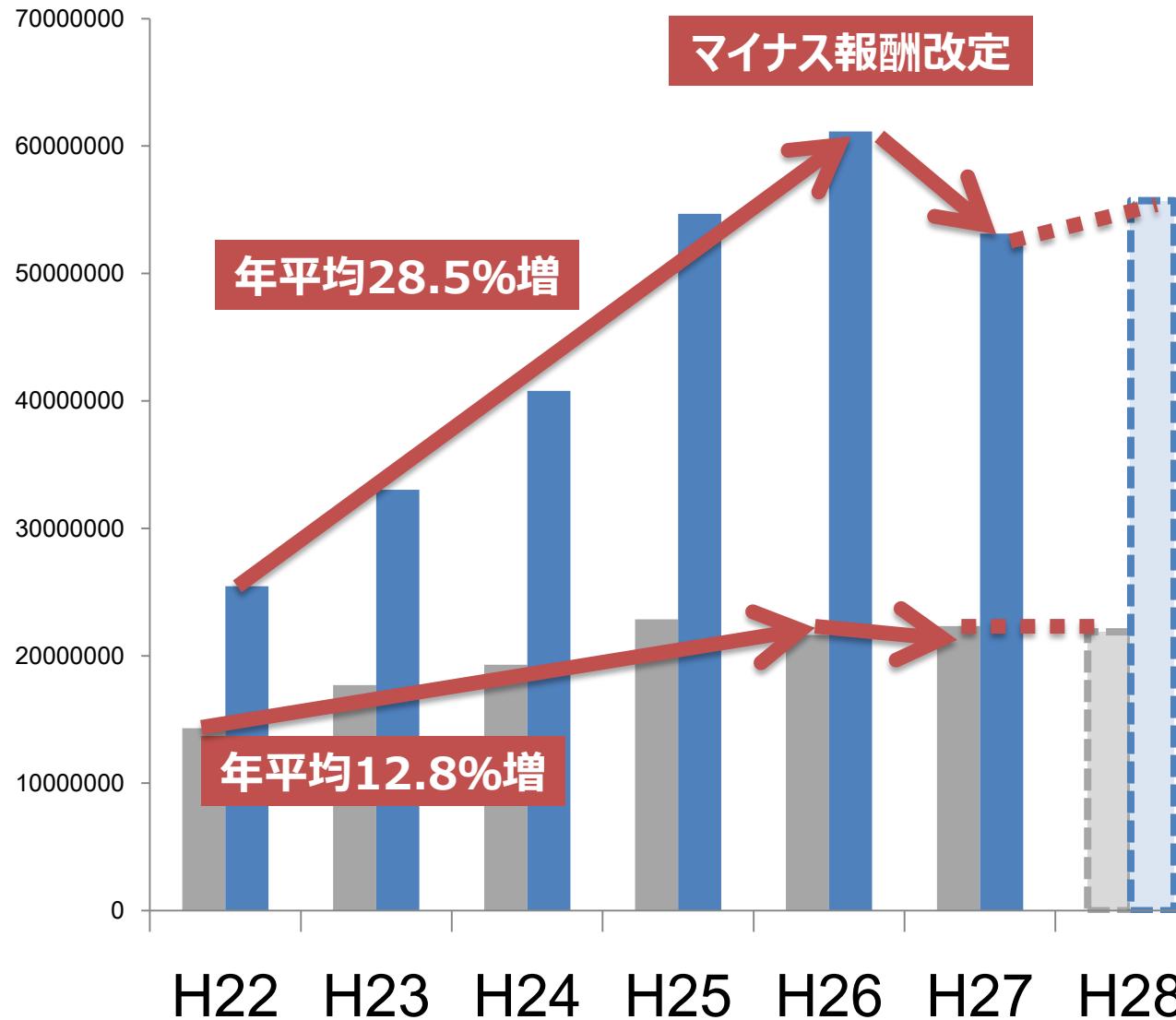
フィットネス



あらかじめまとめておいた買い物リストで買い物
自分で選んだ購入品は宅配サービスを利用

購入品が届くまでの間
フィットネスクラブで汗を流す

総合事業移行後のサービス費の伸び



給付費見込み

通所サービス

対前年比+3.5%

訪問サービス

対前年比+1.0%

後期高齢者数の
伸び率(5%)の
範囲内に収まる

医療 介護

介護予防 総合事業

認知症 総合支援



生活支援 体制整備



健康福祉部 高齢者福祉課 地域ケア推進係
E-mail : koreifu@city.toyoake.lg.jp
TEL : 0562-92-1261
豊明市新田町子持松1番地1
<https://www.city.toyoake.lg.jp/>